



学校法人 杏文学園

東京柔道整復専門学校 学生募集要項

2025年度
入学生用

目次

入学までの流れ	2
アドミッションポリシー	3
出願にあたって	4
募集学科・コース・定員	
受験資格	
入試日程	5
大学併願制度について	
入試方法別詳細（出願資格、選考方法など）	6
入学検定料	
入学金・学費・納入時期	8
その他、必要な費用	
奨学金制度・教育ローン	10
1. 日本学生支援機構奨学金	
2. 日本政策金融公庫	
修学支援の新制度	11
会社勤務など就職経験のある方へ	12
国の支援制度（専門実践教育訓練給付金）	
専門学校・大学を卒業されている方、社会人の方へ	13
単位互換・授業免除制度	

資料請求等によって本校が保有する個人情報および、入試に関わる書類に記載された個人情報は、その目的の範囲内のみで利用します。個人情報の管理等については、本校が規程する「プライバシーポリシー」に基づいて適切に取り扱います。（プライバシーポリシーは、本校のホームページをご覧ください）

本要項で募集する記載内容は 2025 年 4 月 1 日付で入学される方に適用されます

入学までの流れ

STEP 1

オープンキャンパスまたは個別相談会に参加



STEP 2

出願書類 提出

郵送もしくは持参



STEP 3

入学試験



STEP 4

合否発表

入試後、2日以内に郵送します



STEP 5

入学手続き

合格後2週間以内に入学金などの納付と必要書類を提出してください



STEP 6

入学許可証



STEP 7

新入生ガイダンス

1月から3月の間で、ガイダンスや入学前教育を実施します
担任やクラスメイトとの顔合せや、授業で使用する教科書・白衣・柔道着の購入手続きなども行います



STEP 8

4月

入学式

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

柔道整復師は、医療の一端を担う専門職です。医療では、人の誕生から死までを対象として、病気やケガの治療、健康の維持・回復・増進や心身の改良と改善を行います。

本校は、柔道整復師を育成し、人々の健康生活に役立つ「人財」を社会に送り出すことを使命としています。従って、本校への入学を目指す方は、その第一歩として、柔道整復師の資格を活かして、将来の職業とする覚悟が不可欠です。

以下に記す「アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）」を理解した上で出願してください。

1. 柔道整復師の社会的使命や役割に共感し、人々への思いやりと誠意や熱意をもって社会に貢献しようとする意欲があること
2. 高等学校までの教育課程を十分に修得していること
3. 基礎医学を学ぶ上で必要とされる基礎的な知識を修得していること
4. 様々な社会の動きに対して、関心を持ち、幅広い視野で見ようとする事
5. 物事に対して、主体性を持って、積極的かつ誠実に取り組む姿勢が身についていること
6. 学校や地域において、グループ学習、課外活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み、周囲の人たちと協力して課題をやり遂げようとする意志や姿勢があること
7. 生涯にわたって学習を継続し、探求心を持ち、自己を磨く意欲を持っていること

出願にあたって

募集学科・コース・定員

柔道整復科

コース名	クラス	定員	修学年限	授業時間
柔道整復コース	午前	60名	3年	9:30 11:00 11:10 12:40 授業1 休憩 授業2
	夜間	60名	3年	18:00 19:30 19:40 21:10 授業1 休憩 授業2
柔整トレーナーコース	午後	60名	3年	14:00 15:30 15:40 17:10 授業1 休憩 授業2

受験資格

学校教育法第90条第1項の規定により大学に入学することができる方

- ① 以下のいずれかに該当する方
 - ・2025年3月 高等学校卒業見込、もしくは既に卒業
 - ・2025年3月 大学入学資格が得られる高等専修学校を卒業見込、もしくは既に卒業
 - ・高等学校卒業程度認定（旧大学入学資格検定：大検）取得
- ② オープンキャンパスなどのイベントに1回以上参加された方
- ③ 柔道整復師を目指す志の確かな方

[欠格事由]

柔道整復師法第四条により、次のいずれかに該当する場合には、免許を与えないことがあると定められています。

- 1 心身の障害により柔道整復師の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 2 麻薬、大麻又はあへんの中毒者
- 3 罰金以上の刑に処せられた者
- 4 前号に該当する者を除くほか、柔道整復の業務に関し犯罪又は不正の行為があった者

入試日程

入試日程

	入試日	出願締切日	募集対象
第1回入学試験	7月14日(日)	7月11日(木)	AOⅠ期
第2回入学試験	7月28日(日)	7月25日(木)	同窓生推薦Ⅰ期
第3回入学試験	8月4日(日)	8月1日(木)	AOⅠ期
第4回入学試験	8月18日(日)	8月15日(木)	同窓生推薦Ⅰ期
第5回入学試験	8月25日(日)	8月22日(木)	医療系資格者 一般(高校既卒者のみ)
第6回入学試験	9月8日(日)	9月5日(木)	AOⅡ期
第7回入学試験	9月22日(日)	9月19日(木)	同窓生推薦Ⅱ期 医療系資格者 一般(高校既卒者のみ)
第8回入学試験	10月13日(日)	10月10日(木)	AOⅢ期 同窓生推薦Ⅱ期 医療系資格者 後継者育成 一般(高校既卒者のみ)
第9回入学試験	10月27日(日)	10月24日(木)	学校推薦 指定校推薦(対象校のみ) 特待生
第10回入学試験	11月17日(日)	11月14日(木)	AOⅢ期 同窓生推薦Ⅱ期 医療系資格者 後継者育成
第11回入学試験	12月8日(日)	12月5日(木)	一般(高校生・既卒者) 学校推薦 特待生

- ※ 1月以降の入試日程につきましては、決まり次第ホームページ等でお知らせします
- ※ 募集は定員に達し次第終了します
- ※ 入学金減免の対象となるAO入試は第7回入学試験までです
- ※ AOエントリー受付は2024年6月1日(土)より行います
- ※ 高校生の一般入試は11月以降となります
- ※ 日程を変更する場合がありますので、ホームページでご確認ください

大学併願制度について

本校では、早い時期に本校へ入学願書を提出でき、また、学費納入の重複を避けることを目的に、「大学併願制度」を設けています。対象となる入試日程や、手続き期間に限りがありますので、ご注意ください。

○利用にあたって

- ・本校受験に併行して大学・短期大学を受験する場合に適用されます。
- ・出願時に「併願届」(学校説明会などで希望者に配布)に、受験する大学または短期大学名、学部・学科名、受験日、合格発表日を記入し、出願書類と一緒に提出してください。
- ・本校に合格した場合、入学手続き(納付金・提出書類)は併願届に記載した大学・短期大学の合格発表日から5日間(土・日・祝日を除く)まで延期ができます。
- ・本制度は、9月から12月までに実施する、指定校推薦及び特待生を除く入試で申請が可能です。
- ※最終の決定期日(本制度の有効期間)は、令和6年12月27日(金)です。

入試方法別詳細（出願資格、選考方法など）

入学検定料

20,000 円（同窓生推薦 I 期は免除）

別冊「出願書類」の『検定料の振込について』に従い、手続きをしてください。

- ① 再受験される場合は、新たに入学検定料 20,000 円が必要となります。
- ② 原則として、振込まれた入学検定料は返還しません。
- ③ AO I 期の方は、9 月入学手続き時の振込となります。

高 高等学校卒業見込

専 専門学校生

大 大学生
大学院生

社 社会人

入試方法		募集開始	対 象				選考方法	内 容
1. AO 入試	I 期	7月 8月					面接 面接 面接	・受験資格を満たしていれば、どなたでも可
	II 期	9月	高	専	大	社		
	III 期	10月 ～						
2. 同窓生 推薦	I 期	7月 8月	高	専	大	社	面接	・本校卒業生もしくは在校生の推薦が必要 ・面接による選考 ・区分①…三親等以内 ・区分②…友人・知人・患者等
	II 期	9月 ～						
3. 学校推薦		10月 ～	高	—	—	—	面接	・評定平均が 3.0 以上で、且つ学校長からの推薦が必要
4. 医療系資格者		8月 ～	—	専	大	社	面接	・医療系の国家資格取得者 ・免許証等の写しが必要
5. 後継者育成		10月 ～	高	専	大	社	面接	・柔道整復師として活躍している方からの推薦が得られる者 ・推薦者の柔道整復師免許証等の写しが必要
6. 一般入試		8月 ～	—	専	大	社	面接 筆記	・受験資格を満たしていれば、どなたでも可
		11月 ～	高	専	大	社		
7. 特待生	杏文特待生 夜間	10月 ～	高	—	—	—	面接	・本校入学後も学業に意欲的に取り組み、また様々な活動に積極的に協力してクラスの模範となることが期待される者 ・杏文特待生…3 学年 1 学期までの評定平均が 3.7 以上 ・スポーツ（柔道部）特待生〔高校生〕柔道経験者で、本校入学後も柔道部での活躍が期待される者〔既卒〕有段者で本校入学後、柔道部へ入部をする者 ※事前に、本校柔道部師範との面接があります。
	スポーツ（柔道部） 特待生 午前・夜間		高	専	大	社		

※ 指定校推薦の募集要項や入学願書は、対象校に配布します。詳しくは説明会等でお問合わせください。

★印の書類は9月以降に提出してください

提出書類									
Web エントリー	入学試験 申込書	入学 願書	同窓生・ 後継者 育成推薦書	学校 推薦書	高校生	高校既卒者		通知 はがき 受験票	検定料 振込 控え
					調査書	高等 学校の成績 証明書	高等 学校の卒業 証明書		
○	○	★			★	★	★	○	★
	○	○			○	○	○	○	○
	○	○			○	○	○	○	○
○	○	★	○		★	★	★	○	
	○	○	○		○	○	○	○	○
	○	○		○	○			○	○
	○	○ (注)				○	○	○	○
	○	○ (注)	○		○	○	○	○	○
	○	○			○	○	○	○	○
	○	○		○ (高校生のみ)	○	○	○	○	○

(注) 医療系資格者の方は、出願資格に該当することを確認できる客観的な書類を願書に添えてください。
例：免許証、協会会員証及びそれらに準ずるものの写し
後継者育成の方は、推薦者の柔道整復師免許証等の写しを願書に添えてください。

高等学校が成績証明書を発行できない場合は発行不可である文書をもって代替とします。

入学金・学費・納入時期

柔道整復コース・午前／柔整トレーナーコース・午後

入学金	学費			合計
	1年次	2年次	3年次	
40万円	授業料 100万 実習費 16万 施設費 16万 132万円	132万円	132万円	436万円

納入時期

2分割の場合

合格後 2週間以内 106万円	9月 66万円	3月 66万円	9月 66万円	3月 66万円	9月 66万円	合計 436万円
-----------------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------

4分割の場合

合格後 2週間以内 73万円	6月 33万円	9月 33万円	12月 33万円	3月 33万円	6月 33万円	9月 33万円	12月 33万円	3月 33万円	6月 33万円	9月 33万円	12月 33万円	合計 436万円
----------------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	-------------

入学金減免

AO入試	I期・II期	10万円減免
同窓生推薦	区分①	40万円減免
〃	区分②	20万円減免
学校推薦		20万円減免
医療系資格者		10万円減免
後継者育成		10万円減免

入学金・授業料減免

スポーツ（柔道部）特待生 入学金+授業料 **80万円減免**（入学金10万・1年次30万・2年次20万・3年次20万）

その他、必要な費用

初年度教科書代等（午前／午後）

教科書代	30,684円
実習用白衣代	10,560円
柔道衣代	8,500円
クラス費	23,500円
同窓会会費（終身）	30,000円
合計	103,244円（2023年度実績）

■特記

1. 納付済みの納付金の返還請求については、授業料・実習費・施設費の当該期間未経過分に相当する額を返還します。尚、入学金については返還できません。
2. 白衣、柔道衣は新入生ガイダンス（1月末実施予定）で採寸します。
3. 学校が推薦する参考書などの購入が必要となる場合があります。
4. 3年間のクラス運営に必要な諸経費としてクラス費を集めます。
5. 入学時点で同窓会会員に登録されますので会費（終身）の支払いが必要となります。

新入生ガイダンス（1月末実施予定）後、7日以内の納付となります。

※ 2年生への進級時に29,150円、3年生への進級時に28,270円が教科書代として必要になります（2023年度実績）。

※ 3年生で認定実技審査受験料6,000円、国家試験受験料24,300円が別途必要になります（2023年度実績）。

柔道整復コース・夜間

入学金	学費			合計
	1年次	2年次	3年次	
10万円	授業料 95万 実習費 16万 施設費 16万 127万円	127万円	127万円	391万円

納入時期

2分割の場合

合格後 2週間以内 73.5万円	9月 63.5万円	3月 63.5万円	9月 63.5万円	3月 63.5万円	9月 63.5万円	合計 391万円
------------------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------

4分割の場合

合格後 2週間以内 41.75万円	6月 31.75万円	9月 31.75万円	12月 31.75万円	3月 31.75万円	6月 31.75万円	9月 31.75万円	12月 31.75万円	3月 31.75万円	6月 31.75万円	9月 31.75万円	12月 31.75万円	合計 391万円
-------------------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	-------------

夜間10万円入学制度利用の場合

合格後 2週間以内 10万円	2月 31.75万円	6月 31.75万円	9月 31.75万円	12月 31.75万円	3月 31.75万円	6月 31.75万円	9月 31.75万円	12月 31.75万円	3月 31.75万円	6月 31.75万円	9月 31.75万円	12月 31.75万円	合計 391万円
----------------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	-------------

入学金・授業料減免

[高等学校卒業見込みの方]

同窓生推薦

入学金 10万円減免

特待生

入学金+授業料 80万円減免 (入学金10万・1年次30万・2年次20万・3年次20万)

[高等学校既卒の方]

キャリアアップ支援制度

初年度授業料 40万円減免 (無条件でご利用いただけます)

同窓生推薦

入学金 10万円減免

単位互換制度 (一般教養科目)

2年次授業料 30万円減免 (※単位互換に関してはp13をご覧ください)

併用可能

最大 80万円

減免

※退部や退学の場合は、授業料の減免は適当されません。

その他、必要な費用

初年度教科書代等 (夜間)

教科書代	30,684円
実習用白衣代	10,560円
柔道衣代	8,500円
クラス費	23,500円
同窓会会費 (終身)	30,000円
合計	103,244円 (2023年度実績)

■特記

1. 納付済みの納付金の返還請求については、授業料・実習費・施設費の当該期間未経過分に相当する額を返還します。尚、入学金については返還できません。
2. 白衣、柔道衣は新生ガイダンス (1月末実施予定) で採寸します。
3. 学校が推薦する参考書などの購入が必要となる場合があります。
4. 3年間のクラス運営に必要な諸経費としてクラス費を集めます。
5. 入学時点で同窓会会員に登録されますので会費 (終身) の支払いが必要となります。

新生ガイダンス (1月末実施予定) 後、7日以内の納付となります。

※ 2年生への進級時に 26,730円、3年生への進級時に 28,270円が教科書代として必要になります (2023年度実績)。

※ 3年生で認定実技審査受験料 6,000円、国家試験受験料 24,300円が別途必要になります (2023年度実績)。

奨学金制度・教育ローン

1. 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、文部科学省所管の独立行政法人です。この奨学金制度は日本最大規模で、金利や返済方法などの条件が利用者にとって有利に設計されています。

- ①募集時期 4月下旬
(高校生は、現在在籍している高等学校を通して奨学金貸与の**予約採用**を申請できますので、早目に担任の先生に相談してください。)
- ②申込者 学生本人
- ③返 還 東京柔道整復専門学校卒業後6カ月後から返還
- ④種類及び貸与月額、審査基準 等

種 類	貸与月額
第一種奨学金 (利息無し)	【自宅から通学する場合】 20,000円、30,000円、40,000円、53,000円から希望額を選択 【自宅以外から通学する場合】 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円から希望額を選択 [審査基準] 経済的に修学が難しいと認められ、貸与基準(学力・家計・人物)を満たす本人に貸与
第二種奨学金 (利息有り)	20,000円～120,000円から希望額を選択 [審査基準] 第一種奨学金より緩やかな基準によって選考 利率(年利)…見直し方式0.200%、固定方式0.805%(2023年1月現在)。但し、在学中は無利子

〈家計収入の基準・例〉

※日本学生支援機構が2022年度の奨学金案内に掲載したものから抜粋しています。

※(*1) 給与所得とは、源泉徴収票の支払金額等の年間の収入金額です。

※(*2) 給与以外とは、所得税の確定申告書における所得金額です。

※あくまで目安の金額ですので、詳しくは現在在籍している高等学校や、本校の奨学金担当にご相談ください。

区 分	世帯構成		申込みの前年1年間の家計収入(単位:万円)			
			第一種		第二種	
			給与所得(*1)	給与以外(*2)	給与所得(*1)	給与以外(*2)
3人世帯	本人・父・母	自宅	705	319	1,042	634
		自宅外	769	364	1,087	679
4人世帯	本人・父・母・ 公立高校生	自宅	783	375	1,126	718
		自宅外	828	420	1,171	763

2. 日本政策金融公庫 [国の教育ローン]

国の教育ローンは、政府出資の金融機関が取り扱う公的な融資制度で、「家庭の経済的負担の軽減」と「教育の機会均等」を目的としています。申込・返済は保護者が行います。

- ①募集時期 いつでも可能(必要時期の2～3カ月前が目安)
- ②申込者 保護者
- ③融 資 額 学生1人につき上限350万円
- ④利 率 年2.25%固定(令和5年10月現在)
- ⑤返 済 借入日の翌月または翌々月から開始。最長18年以内

〈世帯年収(所得)の上限〉

子どもの人数	給与所得	給与以外
1人	790万円	600万円
2人	890万円	690万円

※上限を超える場合でも緩和・優遇制度があります。

修学支援の新制度（授業料等減免と給付型奨学金）

高等教育の就学支援新制度

本校は、「修学支援の新制度」の対象校として文部科学省に認定されています。

この制度は、世帯収入等の要件を満たしていれば、『入学金・授業料の減免』と『給付型奨学金の支給』が受けられるものです。

1 申込資格

① 2025年3月に高等学校を卒業予定の方

② 高等学校を卒業後、2年以内の方

※高等学校に在学中の方は、高等学校が申込窓口です。但し、申込期間に間に合わなかった場合は、本校入学後に申し込むことができます。

2 選考基準

次の①と②の両方を満たす必要があります。

① 学力基準

以下の1.もしくは2.のいずれかに該当する必要があります。

1. 高等学校における全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること

2. 将来、社会で自立し、及び活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること（※1）

※1 学修意欲等の確認は、高等学校等において面談の実施又はレポートの提出等により行います。

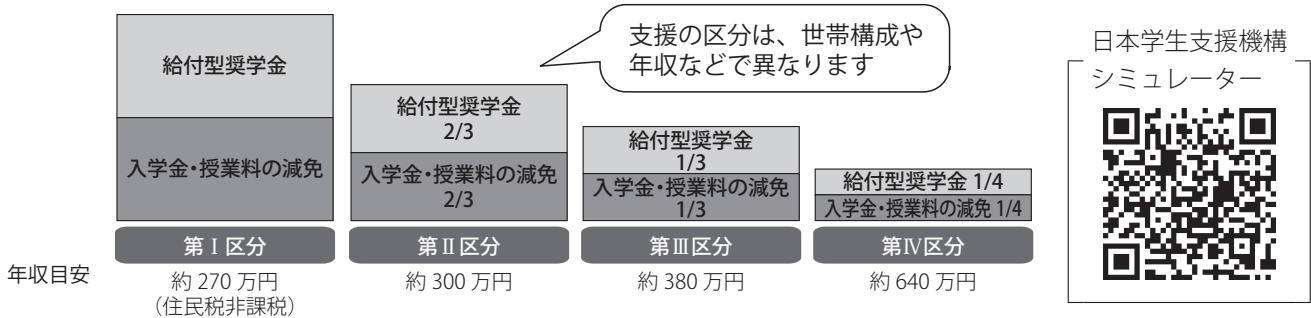
② 家計基準（収入基準・資産基準）

住民税非課税世帯の学生は、上限額の支援を受けることができます。（第Ⅰ区分）

その他、世帯構成や年収等により、上限額の2/3（第Ⅱ区分）、1/3（第Ⅲ区分）、1/4（第Ⅳ区分）の支援を受けることができます。

ご自分が対象になるかどうか、日本学生支援機構のシミュレーターが参考になります。

（例）



3 支援の内容

① 『入学金・授業料の減免』……第Ⅰ区分の場合

午前・午後に入学する場合、入学金が16万円、年間の授業料が59万円減免されます。

夜間に入学する場合、入学金が10万円、年間の授業料が39万円減免されます。

（第Ⅱ区分の場合はその2/3、第Ⅲ区分の場合はその1/3、第Ⅳ区分の場合はその1/4が減免されます）

午前・午後

	入学金【減免額】	年間学費【減免額】
第Ⅰ区分	400,000円 ⇒ 240,000円【160,000円】	1,320,000円 ⇒ 730,000円【590,000円】
第Ⅱ区分	400,000円 ⇒ 293,300円【106,700円】	1,320,000円 ⇒ 926,600円【393,400円】
第Ⅲ区分	400,000円 ⇒ 346,600円【53,400円】	1,320,000円 ⇒ 1,123,300円【196,700円】
第Ⅳ区分	400,000円 ⇒ 360,000円【40,000円】	1,320,000円 ⇒ 1,172,500円【147,500円】

夜間

	入学金【減免額】	年間学費【減免額】
第Ⅰ区分	100,000円 ⇒ 0円【100,000円】	1,270,000円 ⇒ 880,000円【390,000円】
第Ⅱ区分	100,000円 ⇒ 33,300円【66,700円】	1,270,000円 ⇒ 1,010,000円【260,000円】
第Ⅲ区分	100,000円 ⇒ 66,600円【33,400円】	1,270,000円 ⇒ 1,140,000円【130,000円】
第Ⅳ区分	100,000円 ⇒ 75,000円【25,000円】	1,270,000円 ⇒ 1,172,500円【97,500円】

※入学手続き時は、減免前の入学金及び学費の納付が必要ですが、入学後に手続きができ次第減免分を返金します。

② 『返済不要の給付型奨学金』……第Ⅰ区分の場合

自宅から通学する場合、月額38,300円⇒年間459,600円が給付されます。

自宅外から通学する場合、月額75,800円⇒年間909,600円が給付されます。

（第Ⅱ区分の場合はその2/3、第Ⅲ区分の場合はその1/3、第Ⅳ区分の場合はその1/4が給付されます）

会社勤務など就職経験のある方へ

● 国の支援制度 ●

1. 【学費支援】 専門実践教育訓練給付

国から 168 万円が支給されます。(返済不要)

本校の全コースが「専門実践教育訓練給付制度」の対象に指定されました。

雇用保険に 2 年以上加入していて、在職中もしくは離職後 1 年以内などの条件を満たせば、3 年間で 168 万円支給されます。

専門実践教育訓練給付金 (合計 168 万円)

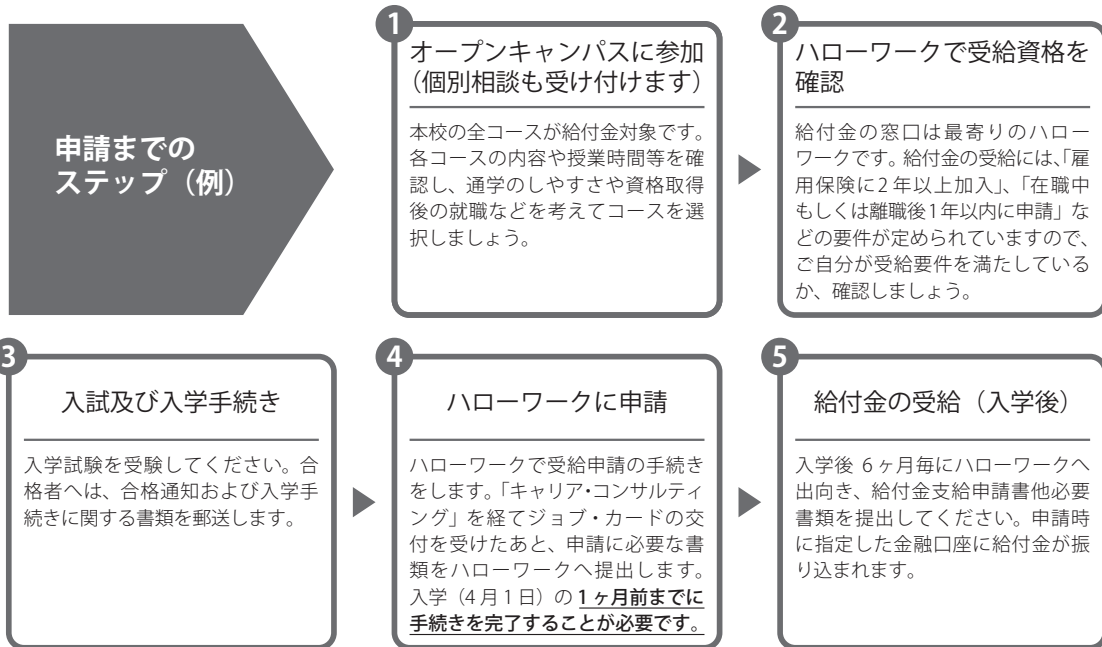
入学後 6 ヶ月ごとに 200,000 円 (1 年間に 2 回給付) を 3 年間給付

200,000 円 × 2 回 × 3 年 = 1,200,000 円

資格取得し、かつ卒業後 1 年以内に雇用保険の被保険者として雇用された場合、160,000 円 (1 年間分) を 3 年間分一括給付

160,000 円 × 3 年 = 480,000 円

申請の流れ



2. 【生活費支援】 専門実践教育訓練支援給付

1 の専門実践教育訓練給付を受給する方で、45 歳未満で離職しているなど、一定の条件を満たす場合に追加受給できます。(返済不要)

基本手当日額の 80% を 3 年間給付 給付は 2 ヶ月ごと

基本手当日額とは、賃金日額のおよそ 80% ~ 45%

賃金日額とは、被保険者期間の最後の 6 ヶ月間の賃金 ÷ 180 日

→ 制度を利用するには、以下の条件が必要となります。

- (1) 雇用保険加入期間 2 年以上
 - (2) 在職中、または離職後 1 年以内
 - (3) 訓練開始の 1 ヶ月前までに、ハローワークでキャリア・コンサルティングを受け、訓練の『受講資格』を取得
 - (4) 教育訓練支援給付を利用出来るのは、本校入学時に 45 歳未満で、且つ、失業状態であること
 - (5) 教育訓練支援給付は夜間は対象外
 - (6) 専門実践教育訓練の受講開始日 (本校入学) が令和 7 年 3 月 31 日以前であること。
- ※ 2024 年度 (令和 6 年度) までの期間限定措置となります。

専門学校・大学を卒業されている方、社会人の方へ

● 単位互換・授業免除制度 ●

専門学校や大学などで一般教養科目を履修し、且つ単位取得している場合、本校で履修予定の一般教養科目について**単位互換**を認めます。

また、基礎医学系の科目を履修し、且つ単位取得している場合、本校で履修予定の基礎医学系科目について**授業免除**します。

※学校を中途退学していても単位取得していれば対象になります。

単位互換

対 象 午前 午後 夜間

申請の際は単位取得した専門学校・大学等の発行する「単位取得証明書 1 通」を申請書とあわせて提出していただく必要があります。単位認定の可否にかかわらず提出書類は返却しません。

単位互換対象科目：総合基礎科目（一般教養科目）

- 1) 午前……………最大 4 単位（60 時間）まで単位互換
- 2) 午後……………最大 4 単位（60 時間）まで単位互換
- 3) 夜間……………最大 14 単位（210 時間）まで単位互換

大学・短期大学で取得している一般教養科目の単位互換を認めます。専門学校は、厚生労働省が認定する医療関係職種養成施設で取得した単位に限ります。

単位互換が認められた科目の**授業及び定期試験**を免除します。

夜間 のみ、2 年次の授業料から 30 万円減免します。

授業免除

対 象 夜間

授業免除対象科目：基礎医学系科目

- | | |
|------------------|--------------|
| 解剖学…………… | 7 単位（195 時間） |
| 生理学…………… | 4 単位（120 時間） |
| 競技者の生理学…………… | 1 単位（15 時間） |
| 高齢者の生理学…………… | 1 単位（15 時間） |
| 運動学…………… | 2 単位（60 時間） |
| 病理学…………… | 2 単位（60 時間） |
| 一般臨床医学…………… | 3 単位（90 時間） |
| 外科学概論…………… | 2 単位（60 時間） |
| 整形外科学…………… | 2 単位（60 時間） |
| リハビリテーション医学…………… | 2 単位（60 時間） |
| 衛生学・公衆衛生学…………… | 2 単位（60 時間） |

対象科目の**授業**を免除します。但し、定期試験を受験し、本校での単位取得が必要です。

